

失語症おしゃべりカフェ 3周年に参加して

大久保 敬子

日時 2019年6月1日(土)
午後1時～4時
場所 東村山地域福祉センター

言語サークル「とも」講師、相馬先生のお誘いで参加して来ました。

総勢100余名が集まり大盛況で大変勉強になりました。訓練には、まず「聞く」「話す」「読む」「書く」ことが大切ですとのこと。

又、言いたい言葉が出てこない、もっと話したい、挑戦したい等。大変でも心掛ける事が必要とのこと。いつも訓練している事ですが、皆でやりましょう、とつくづく思いました。

口の体操、詩の群読、会話パートナーの話し、悩み、喜び、パフォーマンスと盛沢山のプログラムでした。



まほろば通信

「まほろば」失語症カフェ 佐々木 美知子

2019年6月15日、「まほろば」にて恒例の失語症カフェが開催されました。失語症カフェは失語症のある当事者、ご家族、支援者、また地域のどなたでも参加していただけるイベント。美味しいお茶とお菓子をいただきながら、交流したり、情報交換をしたりする場所です。

失語症は、脳の病気や怪我で「言語」を司る場所が損傷して起こり「読む」「書く」「話す」「聞く」といった言葉を使うことが苦手になります。しかし、失語症の方はコミュニケーションを工夫すると、案外色々なことをお話できるようになります。

当日は、大雨にも関わらず、27名もの参加者がありました！ほとんどの方がはじめての参加でした。口コミで「失語症カフェをやってるよ！」ときいて、以前から待ちに待ってこられた方も多くいらっしゃいました。失語症の方やご家族が集まる場所や、交流できる場所、情報交換できる場所はあまりなく、また当事者や家族でさえも「失語症って何？」と知らずにいる方も多くおられます。失語症カフェが、多くのつながりをつくっています。

身障協のサークル活動のひとつ、失語症のみなさんの言語グループ活動「とも」をメンバーの大久保さんや中村さんから紹介していただきました。皆さんで自己紹介をした後、質問や意見など自由にお話ししました。失語症の人にもわかりやすいように、「要点筆記」といって今、話している内容の要点を書きだしたものを提示しながらお話を進めました。

当日は、言語聴覚士(ST)、ケアマネージャーや地域包括支援センターの職員、美味しい手作りの焼き菓子を作ってくくださったボランティアさん、国が昨年度開始した「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」修了者や勉強中の方なども参加してくださいました。みなさんのご協力と出会いに感謝します。もっともっと、失語症の正しい理解が広がり、障害のある方の社会参加が進むようにまほろばは頑張っていきたいと願っています。

まほろば「失語症カフェ」は年に数回、不定期に行われています。お問合せは デイオアシスマほろば (042-505-8419) まで。